

子育て支援情報 ぱたぱたママ

親子の楽しい触れ合いタイム！
「チビっ子らんど おはなし会」
見たり、聞いたり、体を動かしたり。
0歳児から親子で参加できます。

日時 毎月第3水曜日 ※8月は19日(火)に開催
0～1歳児／10時15分～10時45分
2～4歳児／11時15分～11時45分

場所 福祉会館2階大広間（吉田島1043-1）
駐車スペース有り

対象 どなたでも（町外の方も参加できます）

内容 手遊び、絵本の読み聞かせ、パネルシアターなど
※費用無料

町社会福祉協議会 ☎82-5222



生き生きレポート

交通安全の意識を高めるため

文命中学校 ☎83-1386

空を覆う雲の隙間から薄日がさす中、町環境防災課と連携した交通安全教室が行われました。横断歩道での事故、内輪差による巻き込み事故などが再現されました。この教室で、生徒は、交通ルールを守ることの大切さや自転車の正しい乗り方を再確認しました。日頃から交通安全を意識することが、自らの身を守ることに繋がると痛感したひとときでした。



スタントマンによる疑似交通事故を見学

開成町と富士山 (その5)

富士山が世界文化遺産に登録されたことに合わせて、「開成町と富士山」シリーズを連載しています。おたのしみください。

教育総務課 ☎82-5221

夏山シーズンで富士山もにぎわっています。開成町では、さまざまな理由で富士山に登れなくても、登ったのと同じ利益を願う方法がありました。それは……

- ① 代行登山を頼み、山頂からのたよりや映像、登頂日が焼印された金剛杖やご朱印を大切に保管する
- ② 田中の富士塚、吉田神社の仙元碑、宮台の富士講碑、道沿いや自宅の浅間大神碑や北辰妙見星碑を信仰する（仙元、浅間、北辰はいずれも富士山の神のこと）
- ③ 富士山をご神体として祀る近くの登りやすい浅間山に登ったり、浅間神社に参拝する
- ④ 岡野金井島延沢地区では、富士講の仲間が当番の家で掛軸を囲んで会食し、富士信仰の心を深める。その後、代表者がお身抜き（その掛軸を竹筒に入れたもの）を持って富士山頂の神社に参拝する……

開成町とは違い富士山から遠い所では、近くで形が似ている山を富士山にみたてて信仰しました（みたて富士）。その数は北海道の利尻富士（利尻山）から鹿児島県の薩摩富士（開聞岳）まで全国に三百もあります。富士山の人気は世界にもひろがり、みたくて富士は海外にも五〇ほどあると言われています。アメリカ西海岸シアトル市郊外のレーニア山（四三九二m）は、その姿かたちから富士山と姉妹山の提携を結び、「アメリカ富士」として現地の日本人に親しまれています。

（文化財保護委員会 井上 東亜）



図書室だより（8月）

町民センター3階
※貸し出し冊数は4冊まで、期限は2週間です

今月のこの1冊

マッチ箱日記 ポール・フライシュマン 文
バグラム・イバトゥーリン 絵

ひいじいちゃんが見せてくれたたくさんのマッチ箱には、いろいろな物が入っている。それはまだ字が書けなかった子どものころに、その日の思い出を入れておいた「マッチ箱日記」だった。

中に入っていたのは、イタリアの貧しい家でおなかのすいた時になめていたオリーブの種や、アメリカに渡って缶詰工場で缶詰に詰めていた魚の骨。ひいじいちゃんはマッチ箱の中の思い出をひとつずつ話してくれる。

この本は小学校高学年の課題図書です。



みんな集まれ！おはなし会

◇おはなし会（第1土曜日、第3水曜日）
日時 8月9日(土) 10:30～
8月20日(水) 15:00～
場所 町民センター3階図書室
申し込みはいりません

毎月1日は、【開成ファミリー読書デー】
家族みんなで本を読もう！

新しく購入した図書（主なもの）

● 一般書 ●

- ・二千七百の夏と冬 萩原浩
- ・流転の細胞 仙川環
- ・芥川症 久坂部羊
- ・シルバー・オクトパシー 五條瑛
- ・知の孤島 小前亮
- ・老いの人舞 松井今朝子
- ・天の光 葉室麟
- ・星々たち 桜木紫乃
- ・もしも俺たちが天使なら 伊岡瞬
- ・火曜日の手紙 エレーヌ・グレミヨン

● 児童書 ●

- ・虫のお知らせ おのりえん
- ・うなぎのうーちゃんだいぼうけん すがいひでかず
- ・図書室のふしぎな出会い 小原麻由美
- ・おっとあぶないかわのなか みやにしたつや
- ・ダッシュ！ 村上しいこ
- ・しゅくだいさあがり 福田岩緒
- ・はじまりのとき タイン＝ハ・ライ

● 家庭・地域・学校などでの読書活動を推進するため、開成町では毎月1日を「開成ファミリー読書デー」にし、読書活動を推進します。



レーニア山(アメリカ富士)
アメリカ・ワシントン州
写真はインターネットより

*文芸

俳句

開成俳句会

七月吟

街灯のとどこかぬ路地や夏の月
月と云えば秋の季語の代表でもあるが、夏の月は（曇さ）から解放されたくて仰いで見る月を（月涼し）とも云う。掲句は暗い路地で（夏の月）を見たと言う句意だ。しかし、中七を（や）で切る事で作者の態度や心境について（読み手）が想像する（間）がある。

波多野すみ枝

短歌

ともしび短歌会

六月吟

吾がための宴なれども孫子等は
亡夫の在りし日を語らひくるる 諸星 末子

孫子等が一堂に会し、作者の誕生日を祝福してくれた。また、亡きご主人の思い出を語り合いつつ、一日が終了したという。ご主人のお人柄を偲ばせ、作者を中心とした親族の強い絆が感じられる歌。

府川ハツエ

俳句

開成俳句会

七月吟

藍浴衣ころろ安らぐ匂ひかな
夏の月塩田続く地平線
赤紫蘇の静かに染まり香に染まり
階のぎしぎしと鳴る夏早
ワイキキの夜や浴衣の四姉妹
離るるも寄るも独りや水馬
ほろ酔ひの我と歩みし夏の月
湯上がりの帯整ひし浴衣かな
青葉光神父の指の細かりき

有賀 孝子
瀬戸 悦子
下澤 操子
遠藤まつ子
遠藤マツエ
遠藤シヅ子
遠藤美津子
濱本 主雄
新井たか志

短歌

ともしび短歌会

六月吟

警沢を戒め生きし親世代
墓参のたびに労苦おもひぬ 石井はま江

作者は、二句目迄の生き方をした親世代を尊び、墓参のつどその労苦を思い遣るという。そして、「自分が生活する上での指針にしている」と示唆し、今目的な風潮に対する警句を込めて詠んだ一首。

近藤 正臣 選